

こんにちは！知事です（平成22年12月14日開催）の概要について

平成22年12月14日（火）、平川市立碓ヶ関小学校において、「こんにちは！知事です」を実施しました。

「こんにちは！知事です」は、知事が小・中学生の皆さんと交流し、将来への期待等について意見交換するものです。

平成22年度は、同校が7校目の訪問校となり、当日は全校児童85名が、知事と意見交換を行いました。

合唱発表

全校児童による「コスモス」合唱



碓ヶ関の歴史発表

私たちの住む碓ヶ関、その歴史は4500年に及び、村としても120年の長きにわたって伝統を築き上げてきました。碓ヶ関を流れる清らかな平川、その平川に沿って、これまで幾つかの遺跡が発見されています。この写真は、今から約4500年前、縄文時代中期後半のものと言われる板状土偶です。神様に祈りを捧げるときに使われたとされています。私たちの生まれるはるか以前、この碓ヶ関の地で生活を営む人々がいたのです。今、私たちが見る花や鳥を太古の人々も見つめていたと考えれば、このすばらしい自然をいつ

までも守っていくことが、とても大切なことのように思われます。

碓ヶ関という地名は、「碓沢」や「碓ヶ丘」であったという説、また、昔から洪水に悩まされてきた土地、水が多い土地ということから「碓の里」といわれたなどの説がありますが、まだ解明されていません。この資料は今から500年ほど前のものですが、碓ヶ関という名前が見られます。

碓ヶ関は、皆さんもご存じのように、温泉と関所で古くから栄えたところです。今から約420年前、1586年、津軽の初代藩主、津軽為信が、秋田を攻撃するため矢立峠を切り開いて道をつくりました。そして、その道に関所を設けました。その4年後、江戸幕府は、この道を羽州街道とし、参勤交代のために使用する道として整備を始めました。これにあわせ、津軽4代藩主の信政は、碓ヶ関に関所を移転するとともに、町の整備を行いました。関所のある宿場町として、そして交通の要として、繁栄を見ることとなります。

そして、今から約120年前の1889年、明治22年4月、政府の市町村制に基づき、碓ヶ関村、古懸村、久吉村の3村が統合されます。碓ヶ関村の誕生です。天然杉の産地として、そして、豊かな温泉資源を活用した温泉宿場町として、さらなる発展を遂げることとなります。

古くは弘前城の築城にも用いられた碓ヶ関の天然杉、杉の中でも特にすぐれたものとされているそうです。豊かな自然の恵みである天然杉は、碓ヶ関の産業にとって欠かすことのできないものでした。

また、碓ヶ関の温泉、その歴史は非常に古く、明治時代初期の書物に「名湯」と記されています。津軽藩主信政をはじめ歴史の教科書に登場する伊能忠敬や吉田松陰も碓ヶ関の温泉で心と体を癒したという説があります。日本の歴史を動かした人物が、その激動の時代に碓ヶ関の温泉につかりながら、平和で安定した日本の姿を思い描いていたのかもしれませんが。そのすばらしさに感動した津軽の殿様が温泉を独り占めするため、家来に「何さも効かね、関の湯っこ」と言わせたように、現在も碓ヶ関の温泉は伝統がある、多くの人々が訪れる温泉地として不動の地位を築いているのです。

碓ヶ関は、産業だけではなく、文化・スポーツ面においても、すばらしい成果を出しました。例えば葛西善蔵が挙げられます。明治20年に生まれた葛西善蔵は、今で言う碓ヶ関小学校を卒業し、その後小説作家として日本の文学史に大きな足跡を残しました。今、三笠山にその記念碑があります。葛西善蔵が見ていた美しい三笠山の風景が、すぐれた小説を書き記す豊かな心を育てたのではないのでしょうか。

1958年、昭和33年には、青森県で初の温泉統合が行われ碓ヶ関温泉郷となり、1986年には、東北自動車道碓ヶ関インターチェンジの設置により、名実ともに津軽の玄関口となりました。その後、久吉温泉休暇村、たけのこの里や特産品直売所「津軽関の庄」、温泉を利活用した屋内プールゆうえい館、関の庄温泉を備えた道の駅、文化観光館などが次々と誕生しました。

一方で、碓ヶ関の歴史は、豊かな恵みを与える反面、大きな災害をもたらす平川との闘いの歴史でもありました。碓ヶ関に暮らす人々は、今のような大型機械のなかった時代でも、災害のたびにみんなで協力し合い、助け合って多くの困難を乗り越えてきたのです。

最後に、私たちに関係の深い碓ヶ関の学校について、その歴史を発表したいと思います。

江戸時代から津軽の政治にとって重要な役割を果たしていた碓ヶ関には、武士に負けない意欲的な人々が多かったようです。そのため、このころの学校は「寺子屋」と言われるものですが、碓ヶ関、古懸には、そのころから7カ所もの寺子屋があったようです。そして、明治時代に入り、学校の制度が整えられると、碓ヶ関、古懸、久吉、民部平みんぶたいのそれぞれのすばらしい歴史を刻んだ小学校が誕生することとなりました。明治時代、碓ヶ関の地を訪れたイギリスのイザベラ・バードも、その著書で、夜になると勉強の復習をする声が1時間も村中で聞こえていると記しているように、碓ヶ関の人々は、子どもの教育をとて大切にしていたようです。

まず碓ヶ関小学校について紹介します。碓ヶ関小学校は、今から約130年前、今の唯ゆい弥院やいんに設置されました。その後、小落前こらくまえ地区や、今の役場があった場所などに移転しました。そして、今から32年前、古懸小学校と統合して現在の学校となりました。

次に、古懸小学校について紹介します。古懸小学校も、今から約130年前に設置されました。有名な僧侶が数多く訪れた古懸不動尊のもと、1400名を超える卒業生を出し、32年前に碓ヶ関小学校と統合となりました。

続いて、久吉小学校について紹介します。久吉小学校は、今から約120年前に設置されました。その後、碓ヶ関小学校の分校として、地域の人々の大きな支援に支えられ、たくさん卒業生を出しました。そして、43年前の昭和42年、碓ヶ関小学校と統合しました。

最後に紹介するのは民部平小学校です。民部平は河川公園をずっと上ったところにある地域で、65年前に古懸小学校民部平分校として設置されました。学校風呂や子ども遊園地の設置など、村を挙げて教育を行っていました。そして、今から39年前、碓ヶ関小学

校と統合することとなりました。

約120年にわたる歴史を刻んだ碓ヶ関村が、市町村合併により平川市となりました。しかし、太古の昔から現代に至るまで、この碓ヶ関の地に生き、碓ヶ関の発展に尽くした多くの人々の努力を、僕たちは決して忘れてはならないと思います。これからも、この碓ヶ関をいつまでも大切にし、平川市になった今も、誰にでも自慢できるところにしていくことを誓います。

学校紹介

まず学区について紹介します。私たちの学区は、古懸地区、碓ヶ関地区、久吉地区と3つの地区に分かれています。昔はそれぞれの地区に学校があったそうです。

まず碓ヶ関地区ですが、私たちの碓ヶ関小学校があります。また、中学校や消防署碓ヶ関分署、公民館、道の駅津軽関の庄や、温泉会館などがあります。毎年たけのこマラソンが行われ、たくさんの方が参加しています。



次に、古懸地区を紹介します。古懸地区には、約750年前に建てられた有名な古懸不動尊国上寺があります。昭和36年1月、県の無形文化財に指定された古懸獅子舞は、昔津軽のお殿様が不動尊にお参りするときに、殿様行列の先頭で道を清められたと伝え

られています。

最後に、久吉地区を紹介します。久吉地区は、大きな久吉ダム、コテージや温泉のあるキャンプ場、たけのこの里があります。また、久吉地区は明治時代に開かれました。そこにやってきた人々によって行われるようになり、現在に引き継がれているのが久吉駒踊りです。ささら踊りというのが本当の名前です。

私たちの学校は、全校児童が85人です。全部の学年が1クラスずつで、一番人数の多い学年は5年生で19人、一番少ない学年は3年生で11人です。また、今年の1年生は12人です。

ここから碓ヶ関小学校の行事などについて紹介します。運動会や学習発表会など、とてもおもしろいのですが、特色ある行事や活動について紹介します。

碓ヶ関小学校では、今年から世界の国々についての勉強をしています。これまでアメリカ、韓国、フランス、ベトナムについて学びました。外国の勉強をした週は、その国の言葉で普段のあいさつをしたり、その国にちなんだ音楽が清掃時間に流れたりします。玄関には校長先生が外国の洋服や本などを置いてくださっています。

この写真は、世界青年の船に乗った青森南高校の先生、そして、ベトナムから青森の大学に留学している方のお話を全校で聞いたときの様子です。世界にはさまざまな国があり、さまざまな暮らしがあることを知りました。僕も、いつかたくさんの方の人と友達になり、いろいろな話ができるようになりたいと思いました。

毎年6月、保育所、小学校、中学校合同で地域の清掃をしています。中学生がリーダーとなり、グループに分かれて学校の周辺のごみを拾います。みんなできれいな碓ヶ関になるように気をつけています。

学年ごとに地域に3つある老人福祉施設で、お年寄りとの交流をしています。低学年では、ダンスをしたり、一緒にゲームをしたりしています。6年生になると、食事介助の体験もします。碓ヶ関のこと、リンゴのことなど、何でも知っている優しいおじいさんやおばあさんとの交流がとても楽しいと感じます。

碓ヶ関は、すぐ隣が秋田県です。そこで隣の学校、大館市立矢立小学校と、4年生同士が年に2回の交流をしています。8月には矢立小学校で、きりたんぼづくりや、矢立峠の散策をし、11月には碓ヶ関小学校でリンゴの収穫体験や皮むき競争などを行っています。矢立地区にリンゴ畑がないことにはびっくりしましたが、新しい友達ができることが一番楽しみです。

碓ヶ関小学校には、卓球部、陸上部、クロスカントリースキー部という3つの運動部と文化部があります。また、新体操クラブ、水泳クラブという2つのスポーツクラブがあります。放課後には毎日のように練習を重ねています。卓球部は毎年、先ほど紹介した矢立小学校と練習試合をしています。陸上部では、女子400メートルリレーで6年連続県大会出場を果たしました。スキー部では、特にリレー競技で優勝や3位以内の入賞が続いています。また、今年、女子新体操団体にインターハイに出場した弘前実業高校は、レギュラー5人のうち4人が碓ヶ関小学校新体操クラブの出身です。体操については、日本を代表する選手であった校長先生が、僕たちのために青森大学や青森山田高校の体操選手を碓

ヶ関小学校に呼んでくださいました。日本一の演技は、今でも心に残っています。

冬になると、校庭でスキー学習をします。先生や地域の方が、校庭にノルディックのスキーコースをつくってくださいます。2月には校内スキー大会があり、お父さんやお母さんが応援に来ます。また、このコースで小学生のスキー・リレー大会も開催され、碓ヶ関小スキー部が、大鰐町や弘前市の選手と競い合います。この大会は、今年で22回目になります。一昨年は男女アベック優勝、去年は男子が3位入賞を果たしています。

碓ヶ関小学校は、全校で85人という小さな学校ですが、みんな仲良く協力して楽しい学校生活を過ごしています。三村知事に、僕たちの小学校のいいところをたくさん知ってもらいたいと思います。今日は碓ヶ関小学校に来ていただき、本当にありがとうございました。

知事

ありがとうございました。

知事への質問、意見交換

児童1

知事になるためには、小学生のうちにどんなことを頑張ればいいですか。

知事

小学校のときには、知事になろうとは全然考えていませんでした。小学校1年生のときには、どうしたら大きくなるのだろうか、どうしたら大人になるのだろうかと考えていました。また、小学校では一番足が速かったので、「よし、オリンピックへ行くぞ。」と思っていました。高校までは一番足が速かったけれど、途中から足が遅くなりました。

子どものときは、知事になろうとは思っていなかったのですが、小学校で一番大事な



ことは、やはり勉強することだと思います。また、体も鍛えないといけないと思います。碓ヶ関小学校では、走ったり、ノルディックスキーをしたり、いろいろな活動をしているので、すごく体を鍛えることができ、いいなと思います。でも、きちんとバランスよくご飯を食べることも大事だと思っています。そして、もっと大事なことは何かというと、きちんと歯を磨くことだと思います。歯が丈夫だと、健康でご飯が食べられるし、ぐっと、辛いときに奥歯を噛みしめることができます。今朝、きちんと歯を磨いてきましたか。夜も磨いて寝ていますか。ぜひ、丁寧に歯を磨いてください。

すごく難しい質問でしたが、知事になるためには、小学校のときは、きちんと先生の授業を聞いて、勉強して、よく運動して、朝ご飯も給食もしっかり食べて、そういうことが大事だと思います。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童 1

ペットショップをやりたいです。

知事

動物では何が好きですか。

児童 1

猫です。

知事

猫ですか。知事の夢はかわいいミニブタを飼うことです。将来、ペットショップを開いたら、是非、ミニブタも扱ってください。ありがとうございました。

児童 2

三村知事は、どんなお仕事をしているのですか。

知事

例えば今日はどんな予定になっているでしょう。秘書課の職員に聞いてみましょう。

秘書課職員

この会議が終わったら県庁に帰り、職員と大事な打合せをします。また、いろいろな会社の社長さんに会ったり、日本銀行へ行ってお話をしたりします。最近では、東北新幹線が全線開業したので、旅行会社の人とどうすれば青森に人を呼べるかといったお話をしたりします。

知事

はい。そういうことで、実は今日も帰ってから忙しいのです。

今、一番力を入れている仕事は、行財政改革と財政再建とって、簡単にいうと、借金で青森県をつぶさないように一生懸命頑張っています。それから、みんなが大人になって仕事に就くときのために、働く場を確保することにも頑張っています。企業誘致というのですが、青森県内の働く場を増やすために、県外のいろいろな会社を回って青森県に来てくれるようお願いをしています。また、仕事づくりといえば、青森県は農林水産業が得意なので、農林水産業を元気にするための仕組みづくりをしたり、全国にセールスに歩いたりしています。そして、命を守る仕事、みんなの命を守るために、県内で働くお医者さんの数を増やすことや、福祉の仕組みをつくるなど、いろいろなことをやっています。

でも、すごく楽しい仕事は、小学校、中学校、高校のみんなと今日のように直に会って、青森県の未来について子どもたちがどのように考えているのか話を聞くことです。今日はとても楽しい仕事だと思ってここへ来ました。

では、県民局長も来ていますので、県民局ではどんな仕事をしているか話してもらいましょう。

中南地域県民局長

おはようございます。

地域県民局では、税金を集めたり、インフルエンザの予防喚起をしたり、皆さんの普段の生活に必要な仕事をしています。もちろん、農業のことだとか、あるいは新幹線が新青森駅に来るから、碓ヶ関の温泉にどうやってお客さんを呼ぼうかなとか、そんなことも、地元の役場の人たちなどと相談しながらやっています。中南地域で頑張っていますので、よろしくお願いします。

知事

このように、知事の仕事はたくさんあります。小学生のみんなが、国語もあれば、算数もあれば、社会もあれば、理科もあれば、体育もあれば、音楽もあればと、いろいろな勉強をするのと同じで、青森県を元気にするためにいろいろな仕事をしています。命を守る仕事や、みんなが暮らしていけるように働く場をつくる仕事などです。最近では、青森県をつぶさないための仕事がとても大変です。(元金ベースでのプライマリーバランス(基礎的財政収支)の推移の資料を用い)平成19年度まではずっと赤字だったのですが、平成20年度によりやく黒字にすることができました。いろいろな、本当に青森県をつぶさないための仕事をしています。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童2

体育の先生になりたいです。

知事

そうですね。体育の先生になるためにも、いろいろな運動をしないとイケませんね。また、学校の先生になるためには、大学に行って、教育学部というところで勉強し、先生の免許を取らないとイケません。試験は難しいから、たくさん勉強してください。



強してください。大きくなったら碓ヶ関小学校の先生になれるよう、みんなで応援してください。くじけそうになったとき、「みんなの前で、知事と約束したんだ。」と思い出してくださいね。

今日は、教育事務所からも先生が来ていますので、少しお話ししてもらいましょう。

中南教育事務所教育課長

先生になるためには、やはり元気に何でもお話しできることがいいと思います。先ほど知事もお話ししましたが、勉強して、運動をして、ご飯をしっかりと食べて、絶対なるぞという気持ちが大切だと思います。頑張ってください。

児童 3

知事になろうと思ったのはいつですか。どうして知事になろうと思ったのですか。

知事

非常に難しい質問ができましたね。

知事になる前は、国会の衆議院議員をしていました。衆議院議員というのは、テレビの国会中継などで知っていると思いますが、日本の教育はこうあるべきだとか、日本の水産はこう守れとか、そういうことを東京の国会議事堂で議論する、そういう仕事をしていました。その前は、旧百石町の町長をしていました。35歳のときです。若かったですね。町長時代は、まちづくりだとか、地域興しなどに取り組んでいました。しかし、私たちの地方の声をどんどん国に伝えていかなければ困ったことになると思います、国会議員になったのです。

今から8年前、衆議院議員のときですが、青森県の財政がとても厳しく、すごく混乱していました。そこで、「よし、自分が生まれ育った青森県を絶対に守ろう。」という気持ちになり、知事選に立候補して、知事になりました。一番の理由というと、自分のふるさと青森が大好きで、青森県がつぶれたら大変だと、青森県がこれ以上悪くなったら大変だと、だから、とにかく青森県を良くしたい、みんなの暮らしが守られ、命が守られ、生きていけるような県にしたい、お父さんたちも、お母さんたちも、おじいさんたちも、おばあさんたちも、みんな、この青森県でよりよく生きていけるようにしたいという気持ちで取り組んでいます。しかし、一生懸命努力していますが、少しずつしか、いろいろなことが積み上がっていかないので苦労しています。そういうふうに頑張っています。

あなたの将来の夢は何でしょうか。

児童 3

漫画家になることです。

知事

ぜひ世界に通じる漫画を書いてください。そのためには何が必要だと思いますか。私が思うには、たくさん本を読んだり、映画を見たりして、想像力をたくましくすることが大切だと思います。頑張ってください。

児童 4

知事が今一番力を入れている仕事は何ですか。

知事

今、青森県の得意分野を伸ばして、青森県の元気をつくりたいと思っています。青森県の一番の得意分野は農林水産業だと思っています。攻めの農林水産業ということで頑張っています。

また、その他の得意分野である環境とエネルギー。それと、観光産業。先日、東北新幹線が全線開業したので観光産業です。あとは、企業の誘致や増設です。青森県で働ける場を増やしていくこと、これも大事なことだと思っています。

農林水産業では、例えば青森県でリンゴやナガイモやニンニクをつくっています。それを県外や海外に売るとたくさんの儲けが出ます。例えばリンゴを100円で売り、20円の利益が出るとします。でも、少し待てと、今力を入れていること、攻めの農林水産業の視点で見ると、そのまま売るよりもジュースやケーキに加工して売る、そうすると60円の利益が出たり、100円の利益が出たり、実は加工するとすごく儲けが大きくなります。青森県は1次産業、ただリンゴをつくるよりも、2次産業、加工してジュースとかリンゴスイーツなどにして、3次産業、流通というのですが、東京や大阪などの市場に売りに行くのが3次産業です。1+2+3は6ですね。1×2×3も6です。実は足して



も掛けても6なのです。青森県の農林水産業を1次、ただつくることから、加工とか流通も考えよう、6次産業化して青森県の生産者にもっと農林水産業で儲けてもらおうということに、今すぐ力を入れています。それが新しい政策です。

これからの観光に関しては、グリーンツーリズムというのですが、ホテルや旅館だけではなくて、みんなの家に泊まって農業の体験をしてみたり、ゆっくり1週間など長い期間滞在するという新しい形の観光にも取り組んでいます。要するに青森県が持っている力をもっとたくさん発揮させようという仕事をしています。いろいろな工夫をして、みんなで儲けましょう、しっかり儲けて青森県を元気にしていこうと訴えています。

碓ヶ関小学校のみなさんにお願ひがあります。新幹線が新青森駅まで開通しました。新幹線から乗客が降りると、特急がつながっているのです、弘前、大鰐、碓ヶ関や大館までお客さんがたくさん来ると思ひます。お客さんが来たときには、みんなでニコッと、おもてなしの心といいですか、来てくれた人たちに、みんなでまずニコッと笑顔でお迎えしてください。特に、来年4月23日からデスティネーションキャンペーンとって、みんなで青森へ行こうというキャンペーンが全国一斉に始まるので、たくさんのお客さんが碓ヶ関にも来ると思ひます。ニコッと笑って、碓ヶ関へようこそと、みんなで来てくれたお客さんを歓迎してください。おもてなしの心で頑張りましょう。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童4

プロ野球選手になることです。

知事

将来の夢に向かって頑張りてください。

児童5

青森県をPRするときに、碓ヶ関の特産物のタケノコ、マルメロやジネンジョなども紹介してほしいです。



知事

私が県外などに農産物のセールスに行くときに、この^{ほっぴ}法被を着ていきます。ここになんと書いていますか。

児童5

「青森の正直」です。

知事

はい。「青森の正直」と書いてありますね。青森県の農家の人たちもそうだけれど、青森県人は、全国どこへ行っても、生まじめで、こつこつと良いものをつくるということで評判です。そこで、県では、「青森の正直」をテーマにして、全国へ販売に歩いています。碓ヶ関のマルメロもタケノコもジネンジョもすごく良い農産物だと思います。

ここで、農業の専門家でもある県民局長にお話ししてもらいましょう。

中南地域県民局長

農産物を宣伝しなくてはいけないという視点、これはすごく大事なことだと思います。今まで農業をやっている人は、つくることに一生懸命やってきたのですが、そのつくった後に売ることについては、別な人に任せていたのです。そのため、本来なら地元の農家に利益として残るお金が、スーパーや流通の人、あるいは県外に流れていたのです。さきほど知事が6次産業化という話をしたのですが、それは農業の人から見ると、今まで1次産業でやってきた人が、加工だとか、流通という分野に入って行き、県外に流れていた利益をできるだけ地元に取り戻そうと、そういう運動をやっています。ですから、宣伝をしていくということは非常に大事なことです。

もう一つ、タケノコやジネンジョの話も出たのですが、リンゴですごく注目しているのは、碓ヶ関にアップルファクトリージャパンというカットリンゴをつくっている工場があります。もともとはリンゴをつくっている農家の人が始めたのですが、自分たちでそういう加工までやって、給食だとか、病院食だとか、あるいはコンビニなどでも売っているのですが、このように付加価値を高めて、自分たちでそういう加工品にして、なお

かつ流通まで、神戸の商社と組んで、全国への流通までやっている。そういう取組をやっています。ですから、さきほど知事がお話しした6次産業化というのは、もし時間があつたら、そのアップルファクトリージャパンに見学に行くと、こういうことが6次産業化なんだというのはすぐわかります。ということで、これからも地元にも利益が出るように頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

知事

碓ヶ関、平川市のものもみんな推して、「青森県産品の勝ち」と言って、一生懸命これからはPRして歩きたいと思います。

では、あなたの将来の夢は何ですか。

児童5

花や植物などが好きなので、花や植物に関係のある仕事をしたいと思います。

知事

とてもいい仕事だと思います。ぜひ将来の夢に向かって頑張ってください。

児童6

青森では、ブラジル、ロシア、アメリカ、イタリアなどの国と交流がありますが、どのような理由で姉妹都市になったのですか。本校ではインターナショナルタイムを設定して世界に目を向ける活動をしているので興味があります。

知事

校長先生が一生懸命、世界の言葉とか、世界の国でどんなものを着ているかとか、いろいろなことについて児童が学べる環境づくりを進めてくれていることをうれしく思います。

まずは、ブラジルについて。ブラジルは、サンタ・カタリーナ州と友好協定を結んでいます。ブラジルのほか南米にはたくさんの方が移民しています。青森県の人でもたくさん行って、青森県人会があります。現地の人にリンゴの作り方を教えたりするなどの交流をしています。

次は、ロシアについて。ハバロフスク地方と友好協定を結んでいます。皆さんも知って

いるようにとても寒い地方です。青森との国際定期便が就航するなどの交流がありましたが、航空路線がなくなってしまい、今後の取組について検討しています。

次は、アメリカについて。メイン州と友好協定を結んでいます。昔、メイン州のチェスボロー号という船が旧車力村の沖合で遭難しました。当時の車力村の人たちが一生懸命に乗組員の命を助けました。そういう歴史的なゆかりがあります。

それから、イタリアについて。リグーリア州と友好協定を結んでいるのですが、実際のところは、なかなか頻繁な交流をしていない状況にあります。

その他、中国の遼東半島にある大連とは大々的に交流しています。貿易もしています。ヒバの木やリンゴを売ったりしています。それから、いろいろな工業製品を売ったり、また、大連からIT関連とか、洋服などを買ったりという交流をしています。青森県も、国際交流はすごく大事だと思っています。これからは、リンゴを2万3000トンも買ってくれる台湾とか上海などと、経済的なお付き合いを一生懸命進めようとしています。

いわゆる国際交流、仲よくしようと友好協定を結んでいる国々とは別に、実際にビジネスで、青森県が一生懸命お金を稼ぐためにお付き合いをしている国や地域も増えてきました。

皆さんが、世界の国と仲よくしよう、世界の国とこんにちとはいろいろな勉強をしてくれていることをすごくうれしく思いました。

あなたの将来の夢は何ですか。

児童6

スポーツ関係の仕事をしたいです。

知事

どのスポーツもそうですが、走り込みって大事だと思います。運動場などを走ったりして身体を鍛えてください。

碓ヶ関小学校の皆さん、今日はありがとうございました。少し難しい話もありましたが、一生懸命に聞いてくれてうれしかったです。皆さんがハキハキして、ニコッと笑ってくれて、本当にいいなと思いました。みんなの笑顔がとてもすてきだと思いました。小学校では、勉強もして、運動もして、碓ヶ関の美味しい物をちゃんと食べて体をつくるのがす

ごく大事だと思います。青森県だけでなく、みんなが、今日歌ってくれた「コスモス」の中に「光の声^{そら}が天高く聞こえる」という歌詞があるけれど、すごく未来に向かってキラキラと輝いている、碓ヶ関小学校の全校85人の声^{そら}がキラキラと輝いていて、すごくうれしく思いました。一人一人が、とても大切な宇宙の主人公です。みんなそれぞれが、これからもこの学校で楽しく、そして、しっかりと過ごしてくれて、それぞれの持っている未来に向かって頑張ってくれることを心から期待したいと思います。今日は本当にありがとうございました。



— 了 —